

「協力伝道週間」（2026/1/25～2/1）に寄せて

私たち日本バプテスト連盟は、毎年1月の最終主日から2月の第一主日までを「協力伝道週間」と定めています。協力伝道週間は、連盟結成50周年を迎えた1997年度より設置されました。その趣旨・目的については、第46回定期総会において示された1977・1978年度活動方針に、次のように記されています。「この週間には連盟の協力伝道の働きをおぼえ、他の教会・伝道所のために祈るプログラムを提供する。諸教会から献げられる『協力伝道献金』による働きを共有し、その目標額の達成に努める」

連盟ではこれ以前から、2月をスチュワードシップ月間とし、教会の働きを支える献金と奉仕の大切さを覚える時としてきました。この時期は各個教会が新年度計画を立案する時期であり、積極的な活動のための財政的裏付けと、それを担う奉仕の重要性を確認するためでもありました。総会を最高の意思決定機関とする私たちバプテストにとって、総会決議は自分たちの意思確認とともに、神様への信仰的な意思表示ともいえるでしょう。そして、表明した意思を現実のものとしていくために、捧げものと奉仕を大切にしてきました。

一方、奉仕と捧げものが、恐れや圧力によって強いられるとき、信仰や良心を縛ってしまう危険があります。そうならないために、一人ひとりの自発的な意思が大切にされなければなりません。

機構改革後の新しい体制における最初の中期計画（2023年度～2026年度）の主題として、私たちは「今、共にキリストを証しするために～新たな『自立と協力』」を掲げ、副題を「各個教会・地域が主体となる協力伝道へ」としました。主題聖句は「愛を身につけなさい。愛は、すべてを完成させるきずなです」（コロサイ3:14）です。この主題のもとで、①各個教会・地域主体の協力伝道、②多様な声が響き合う連盟、③協力伝道献金体制の確立を目指しています。

協力伝道週間の趣旨文にあるように、連盟の協力伝道の働きの根幹は「他の教会・伝道所のために祈る」ことにあります。厳しい財政、働きを担う人の不足などにより、私たちの心は内向きになってしまっていることがあります。一方、弱さを覚える中で、これまでイメージしてきた「あるべき姿」から解放され、新しい協働の在り方への模索が始まっています。「愛を身につけ」、主体的に、互いに関心を持ち、捧げ合い、担い合い、何よりも祈り合う。そのような交わりの中で、福音宣教と伝道、そしてバプテスト教会の形成に、ご一緒に取り組んでいきたいのです。

共に協力伝道の働きを担い合い、協力伝道献金の目標額（予算）が達成できるよう「協力伝道献金の『祈りと励ましの標準比率』」（2013年第59回定期総会改定）を確認し、捧げてまいりましょう。そして、ポスターには、是非、各教会・伝道所の2025年度の協力伝道献金目標額を書き入れ、祈りに覚えていただきたいと思います。

また、《祈りの暦》には協力伝道の働きと祈りのテーマを記しています。「協力伝道週間」（2026年1月25日～2月1日）の時を、他教会・伝道所、そして様々な取り組みを覚える交わりと恵みの時としてまいりましょう。

2025年12月10日
日本バプテスト連盟 理事会

日本バプテスト連盟

協力伝道週間

今、共にキリストを証しするために

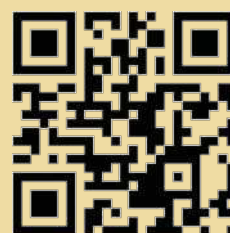


2026年**1**月**25**日(日)~**2**月**1**日(日)

2025年度 協力伝道献金 目標額 1億2千万円

わたしたちの教会の協力伝道献金額 (

円)



協力伝道週間
祈りの暦



【日本バプテスト連盟】

協力伝道週間「祈りの暦」 2026年 1月25日(日)～2月1日(日)



中期4カ年計画(2023-26年度)の3年目の歩みが進められています。改革の主題「今、共にキリストを証しするために～新たな『自立と協力』～各教会・地域が主体となる協力伝道～」を覚えつつ、多様な声を聞き合い、共に祈り合いながら、協力伝道の働きを進めてまいりましょう。※「協力伝道週間」の趣意書、ポスターなどは、連盟HP「特設サイト」で閲覧できます。

■ 1/25〔日〕「諸教会・伝道所、地方連合」

全国の286教会・25伝道所(加盟申請準備中含)が祈りで結ばれ、それぞれの福音宣教の働きが祝され、守られますように。機構改革により、教会間・13の地方連合における「協力伝道」の活動がさらに豊かにされますように。専任牧師不在の教会・伝道所を覚えて。

■ 1/26〔月〕「理事会、監事、総会議長団」

【理事会】 第71回定期総会の議案・協議の整えと全教会出席のために。持続可能な連盟を目指し、継続するものと断念するものを識別する知恵を。次期中期計画策定に多様な声が挙げられ、盛り込まれていくように。12名の理事1人ひとりの霊性・健康が支えられるように。

【監事】 2025年度より新たに選任された理事会・監事会・総会役員会の活動の1年目を終えようとしています。現状と課題を整理し、2月の定期総会を経て、2年目の活動に向けた準備が整えられますように。様々な変化も伴う機構改革の取り組みの中で、機構改革の理念を改めて確認し、総会で決議したその理念を大切に、多様な声が響き合う連盟組織が築かれていきますように。

【総会議長団】 2月6、7日開催の第71回定期総会にすべての教会が出席できますように。主の導きのもと互いの自立と協力について、これからの協力伝道について熟した話し合いができますように。総会運営に携わる総会議長団、総会事務局、ICT委員会の働きを覚えて。

■ 1/27〔火〕「常設委員会：総務委員会、財政委員会」

【総務委員会】 総務委員会が全国諸教会・伝道所に資する働きができますように。これから検討していきたい『収益事業』について、各委員の学びと解決の糸口を見いだすことができますように。各総務委員とICT委員会(小委員会)の働きと信仰・健康が守られますように。

【財政委員会】 連盟財政として、2026年度決算において、教役者退職一時金・年金会計を除いた連盟会計全体で、収支バランスを取ることが求められています。基金や資金に頼ってきた財政から協力伝道献金体制への移行のために、標準比率以上の協力伝道献金が届けられ、財政的に必要な備えがなされますように。各財政委員と教役者退職金制度検討チーム(小委員会)の働きと健康が守られますように。

■ 1/28〔水〕「常設委員会：地域協働委員会、研修委員会、ハラスメント対策委員会」

【地域協働委員会】 地域協働委員会と宣教室が連携して諸教会・伝道所、各地方連合との協働による協力伝道のためにお祈りください。①2027年度から段階的に進めていく新協働(支援)政策のために。②特設サイト「協力伝道ひろば・まじわりのページ」が諸教会・伝道所、各地方連合とつながるツールとなるために。各地域協働委員と新支援政策タスクチーム(小委員会)の働きと健康が守られますように。

【研修委員会】 ①2026年度開催の「バプテストフェスティバル」(26.8/6～8・西南学院大学)準備のために。②「第2回全国ユースキャンピング函館」(3/30～4/1)準備のために。③教会音楽研修センタープロジェクトの働きのために。④『聖書教育』のこれからのために。

【ハラスメント対策委員会】 ①連盟に連なる諸教会・伝道所、その他のすべての組織においてハラスメント、人権侵害が起こらないように。②起こってしまった事案において適切な解決があたえられるように。③ハラスメント対策委員会の働きと健康のために、特に電話で相談にあたる相談委員のために。また、調査委員会の労を担ってくださる方々の働きと健康が守られますように。

■ 1/29〔木〕「特別委員会・臨時委員会、国外伝道」

【特別委員会】 各特別委員会の働きを覚えて(回転資金、資料保存・管理、障がい者と教会・休止中、靖国神社問題、公害問題、日韓・在日連帯、部落問題、ホームレス支援、性差別問題、伝道者養成) 【臨時委員会】 各臨時委員会の働きを覚えて(平和宣言推進、東日本大震災被災地支援、国外伝道タスク、国外伝道臨時、機関紙編集、『新生讃美歌』評価・検討) 【国外伝道】 全国の祈りと日本バプテスト女性連合、国外伝道臨時委員会、宣教室のサポートを受けて、野口日宇満インドネシア派遣宣教師、佐々木和之ルワンダ派遣国際ミッション・ボランティアの働きが守られますように。第71回定期総会で審議される「これからの国際宣教の理念」が諸教会・伝道所のものとなっていく、これからの国際宣教の働きが豊かに起こされていきますように。

■ 1/30〔金〕「伝道者養成・神学部・神学校」

①献身者が起こされるように。②西南学院大学神学部、東京、九州各バプテスト神学校、北海道バプテスト研修センターのために。③伝道者養成に関する委員会のために。④全国壮年会連合と奨学金委員会のために。神学生奨学金献金(目標額2,500万円)が満たされるために。

■ 1/31〔土〕「関係事業体、国内・国外協力団体」

【関係事業体】 (学)西南学院、(学)西南女学院、(一財)日本バプテスト連盟医療団 【協力団体】 日本バプテスト女性連合、日本バプテスト連盟全国壮年会連合、全国青年大会実行委員会、日本バプテスト連盟教役者会、女性牧師・主事の会、日本バプテスト社会福祉事業団体協議会、日本バプテスト保育連盟、日本バプテストろう伝道委員会/沖縄バプテスト連盟、日本バプテスト同盟、日本バプテスト宣教団、日本キリスト教協議会(NCC)、日本キリスト教連合会、外国人住民基本法の制定を求める全国キリスト教連絡協議会、同和問題にとりくむ宗教教団連帯会議、部落問題に取り組むキリスト教連帯会議、キリスト者平和ネット、難民・移住労働者問題キリスト教連絡会、マイノリティ宣教センター、カルト問題キリスト教連絡会、教諭師連盟/世界バプテスト連盟(BWA)、アジア太平洋バプテスト連合(APBF)、シンガポール国際日本語教会(IJCS)、コーポラティブ・バプテスト・フェロシップ(CBF)、米国南部バプテスト日本語教会連盟、韓国バプテスト連盟、インドネシア・バプテスト教会連合、タイ・バプテスト連盟、各団体の働きと相互の連帯・協力のために。

■ 2/1〔日〕「宣教研究所、連盟事務所」

【宣教研究所】 ①新任牧師・主事研修会(26.2/24～28)の準備と講師・参加者の上に主の導きが与えられますように。②研究・研修・情報発信の働きが、諸教会に益となりますように。③運営委員会とスタッフが、それぞれの務めを果たすことができますように。④2027年度以降の宣研の体制が、主のみ心にかなう形で整えられますように。【連盟事務所】 総務室(法人管理、不動産管理、経理、販売管理など)、宣教室(教会支援業務、『聖書教育』、国外派遣業務、教勢報告など)、常務理事室(理事会業務、機関紙編集、関係事業体・協力団体の対応など)の働きと職員・非常勤職員の健康を覚えて。『聖書教育』編集実務者会と『新生讃美歌』推進担当の働きのために。